

平成 28 年 度

幼稚園教員資格認定試験

指導案の作成に関する試験

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、全て所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点の対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから90分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

問 題 1～2 ページ

以下は、ある幼稚園の3歳児クラス(男児12名、女児10名)における11月の指導計画(週案・日案)の一部を示したものです。週案を基に、日案の【問1】から【問6】について答えなさい。

<週案>

11月第3週	
前週 の 幼 児 の 姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの幼児は園生活の仕方が自分なりに分かり安心して過ごしているが、M児とS児は日によって身支度がなかなか終わらないこともある。日増しに寒くなる中、着込んできた上着の着脱に手間取っている様子がうかがえる。教師が冬の生活習慣を知らせようと、登園後や遊んだ後に音を立ててのどの奥までうがいをして見せたことをきっかけに、幼児たちは「ガラガラ」と音を立てることを楽しむようになった。 ・11月の初めに年長児が作ったお店屋さんを招待されたことから、お店屋さんに興味をもち、年長児に助けてもらいながら、「いらっしゃいませ」「これください」「はい、どうぞ」などの簡単な言葉をやりとりする姿が見られるようになった。 ・インフルエンザや風邪の流行に備えて病院の話をしたことがきっかけになり、積み木を使って場をつくり、お医者さんごっこを楽しみ始めた。幼児の要求に応じてマスクや薬を用意すると、マーカーで色をつけたり、柄をかいたりして楽しむようになり、遊びがにぎわうようになった。さらに、医者のお聴診器や看護師の帽子、包帯などが揃うと、思い思いの役になって、言葉のやりとりが続く。「はい、きょうはどうしましたか?」「おねつなんです」と話したかと思うと、聴診器を患者に見立てた人形に当てるなど、それぞれ自分なりのつもりの世界を楽しむようになってきた。医者役の幼児が「はい、おだいじにー」と言って診察の終了を告げても、その意味が分からず、お母さん役や患者役の幼児が座り続けている場合がある。言葉の理解の差からやりとりが続かず、離れていく幼児もいる。また、T児は医者になりたいようだが、なかなか言い出せない様子である。 ・ドングリをペットボトルに入れたマラカスなどを使って、音楽に合わせて鳴らしたり、友達と一緒に音を出したりして楽しんでいる。落ち葉を集めて「カサカサ」という音や、ドングリが転がる音などに興味をもち、自分なりの関わり方で遊んでいる。様々な素材に触れて、感触を楽しむことや、いろいろな音が出ることを楽しんでいる。 ・三輪車やキックスケーターに乗って、園庭を走りながら、年長・年中児の遊びの様子を見たり、遊びに入れてもらったりして行動範囲が広がってきた。中には力任せに乗る幼児もあり、年長児の遊びの邪魔をすることもある。 ・気温が下がり始めた前週から、思い切り体を動かす色おにを楽しく時間を作った。園庭に色フープを並べ教師がおにになり、「黄色」と叫ぶと幼児は友達と黄色のフープを目指して駆け込む。フープに入っていない幼児は教師に追いかけられ、タッチされたら一緒におにになる。教師や友達に追いかけられ、体を動かして遊ぶことを楽しんでいる中、M児とS児が同じフープに入ろうとし押し合いになることがある。
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りのことを自分で行おうとする。 ・友達といろいろな遊びをする中で、自分なりの表現を楽しむ。 ・教師と一緒に、簡単なルールのある遊びを楽しむ。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・上着の着脱、手洗いやうがいを意識して行う。 ・教師や友達と一緒にいる中で、自分の思ったことを言葉でやりとりしながら遊ぶ。 ・自然物や身近な材料や用具を使って、かいたりつくったりする。 ・戸外で伸び伸びと遊び、十分に体を動かす。 ・簡単なルールを教師や友達と共有しながら遊ぶ。

<日案>

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いのままに表現する楽しさを味わう。 ・教師や友達と一緒に簡単なルールで遊ぶことを楽しむ。 		
内容	【問1】 ねらいに対応した内容を二つ記述しなさい。		
時間	予想される幼児の活動	環境の構成	教師の援助
8:40 9:00	<ul style="list-style-type: none"> ○登園する。 ・出席シールを貼る。 ○身支度をする。 ・身の回りの持ち物を片付ける。 ・うがいをする。 ・上着を着替える。 	(略)	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶を交わし、気持ちよく登園できるようにする。 ・出席シールを貼る場所を確かめるよう具体的に知らせる。 【問2】 生活習慣の自立に向けた教師の援助を二つ記述しなさい。
9:20	<ul style="list-style-type: none"> ◎好きな遊びをする。 ○お医者さんごっこをする。 ・包帯や薬を扱い、医者や看護師の仕草や言葉かけを楽しんでいるが、身に付けるものを独占する幼児や、なりたい役を言い出せない幼児が出てくる。 ・つくったマスクを着け患者になりきって遊ぶ。 ○様々な音を出して楽しむ。 ・落ち葉やドングリなどの自然物、空き容器などの素材を使って様々な音をつくり出す。 ○三輪車やキックスケーターに乗る。 ・友達と一緒に好きな乗り物に乗って走ることを楽しむ。 ○片付ける。 ・用便をする。 	<保育室> 【問3】 お医者さんごっこが継続するための環境の構成を二つ挙げ、その理由も記述しなさい。 <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉やドングリ、卵パックなど、自然物や素材を使って、感触や音を出して楽しむ場を用意する。 <園庭> 【問5】 三輪車やキックスケーターを安全に楽しむための環境の構成を二つ記述しなさい。	【問4】 幼児がしているお医者さんごっこがより充実するための教師の援助を三つ記述しなさい。 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材の感触やこすれる音など、触った感じや音の出る楽しさを教師も一緒に言葉にしたり、幼児の発見に共感したりして、音の違いに興味をもてるようにする。 ・キックスケーターに興味をもち、乗れるようになった幼児が増えてきたので、できるようになった喜びに共感したり、励ましたりして、更に意欲をもてるようにする。
10:30	<ul style="list-style-type: none"> ◎全員で色おにをする。 ・「早く!」と呼び合ってフープの中に一緒に入ろうとする。 ・おにから逃げようと全力で走る。 (以下、略)	<ul style="list-style-type: none"> ・3~5色のフープを5~7個ずつ用意し、園庭に広げておく。 ・フープの取り合いがないよう予備を用意しておく。 (略)	【問6】 簡単なルールで体を動かしたり、幼児同士で関わったりして楽しむための教師の援助を三つ記述しなさい。 (略)